

“鮮度一番！”

No.211

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 柳田国男『地名の研究』を読む 第8便
- 1～2 / ひとことコラム
- 2～3 / 運営委員会で話されたこと
- 3～4 / お知らせ 編集後記

柳田国男『地名の研究』を読む

第8便

「エズミ」

北海道の地名がアイヌ語であることは広く知られています。本州の北東北には痕跡が濃厚に認められますが、南下するほど影響は薄らいでいきます。柳田国男も『地名の研究』で、「アイヌ語の地名が九州まで分布していたとて、すこしも驚くべきことではない」とアイヌ語の痕跡が窺えることを認めています。事例に、島根県・出雲の江角・エズミを取り上げています。江角も出雲も同じアイヌ語からの派生で、エズミはアイヌ語のエンルムがエドモになりエズミになったと解説します。アイヌ語の研究者、村崎恭子（元横浜国立大学教授）先生の解説でも、アイヌ語のエンルム（断崖絶壁の岬）はエリモになり、エドモ、イズモ、オトモに変化するとのこと。変化の一つエリモは、森進一の歌で知られる襟裳岬です。県内にも、出雲崎町にその名の通りイズモが残り、同町内に乙茂・オトモが存在します。果してアイヌ語のエンルム由来でしょうか。（杉野真司・H28.11.1）

・・・ひとことコラム・・・ 断捨離以前のお話

兼古 和枝

息子が結婚しました。お相手はデザイン学校で知り合った東京のお嬢さん。今年の正月に結婚話が浮上し、5月14日に結納、8月8日に入籍、9月24日にお嫁さんが三条に引っ越して来て、めでたく新婚生活が始まりました。会場選びにこだわって結婚式は来年の6月というのですから、蜜月がずいぶん長持ちしています。

2人は何でもじっくり考えて選んでいく過程を楽しんでいるようで、新居のアパートにはほとんど物がありませんでした。まずは調理器具が炊飯器とフライパンのみ。鍋がない！テーブルもなく、旅行カバンの上に料理を置いて食べていましたから、まるでキャンプ生活です。ベッドも特注のスプリングがドーンとあるだけ。「取りあえず」とか「間に合わせ」で揃えるのではなく、箸や食

器などの小物から大型家具に至るまで、お気に入りを見つける宝探しゲームをしているかのようです。不便でも愛があれば幸せということでしょうか？

いただき物の上等なタオルでも、「柄が合わないから、お母さん使って」と持ち込んで来ます。「何て贅沢な！」と思う反面、これだけ厳選していたら、無駄な物なんて買わないし、気に入った物はとことん大切に使うんだろうな～と羨ましく思います。

一方我が家は、もったいなくて捨てられない物が溢れています。35年の歴史の遺産？それともゴミ？どっちがエコだかわかりません。心身共に断捨離したい！と思っているのに、受け入れのキャパは広がるばかり。最低限の物だけで心豊かに暮すシンプル生活に憧れます。

それにしても、これだけこだわりのある2人なのに、よく結婚相手を決められたものです。さぞかし熟慮して選んだ相手でしょうから、一生飽きることなく添い遂げてほしいと願うばかりです。

なにしろお嫁さんは私の長女と同じ名前、誕生日も2日違いという奇跡のご縁でたぐり寄せられた運命の人なのでありますから。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成28年11月2日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)



11月に入って、急に冬らしくなってきました。年齢とともに体も鈍くなっていますので、ストレッチをしたり、積極的に体を動かして、病気や怪我に気をつけましょう！

次回の運営委員会は、12月7日(水)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. 何か報告は、ありませんか？

久しぶりの運営委員会でしたので、それぞれがとても個人的なことをたっぷり1時間、報告しました。おもに家族の話題が多い中、それとは別に専業主婦だった女性が、60歳を過ぎて初めて仕事に出た体験を聞きました。家事力は充分あっても職場経験のない女性は、最初の3ヶ月は涙の日々を過ごしたが、今では職場に慣れて、いきいきと暮らしているとのこと。いくつになっても新しいことに挑戦する姿は、さわやかであり、私たちに勇気を与えてくれます。

2. 各種審議会等について

10月17日(月)ネットワーク三条代表者会議が、男女共同参画センターで開催されました。会議には欠席しましたが、会議録から報告します。

1. 三条市委託事業(男と女のライフスタイルセミナー)について

昨年度の反省をふまえて、今年度はひとひとフォーラムと同時開催の1回とする。次回11月7日(月)開催の代表者会議までに、各団体でやれることのアイディアをだす。

2. 第12回ひとひとフォーラムについて

平成29年3月5日(日)三条市総合福祉センターで開催する。午前に男と女のライフスタイルセミナー、午後にひとひとフォーラムの講演会を行う。

以上から、当会では、市島清貴教授の「コミュニケーション講座」を再度提案することを決定しました。

3. 三条女性会議、研修会&新年会について

今年度の研修の内容と時期について話し合いました。

内容は、健康年齢をながーく伸ばすために健康づくり課の出張トークから「やらなきゃ損する“ちょこっと”筋トレ」を選びました。とても良い小冊子が出ていますが、一人で取り組むには、なにか難しそうですので、ここは、その道のプロから、効率的にやるコツを教えてください。

日時は、平成29年1月21日（土）午後3時～5時、その後、近くのお店で新年会を行います。申込は、来月号でしますので、どうぞ予定に入れておいてください。

【お知らせ】

次期新潟県男女共同参画計画策定についての地域懇談会を開催します

県では、現行の「第2次新潟県男女共同参画計画（男女平等推進プラン）」の計画期間が平成28年度で終了するため、次期新潟県男女共同参画計画の策定作業を行っています。多くの皆様からご参加いただき、これからの男女共同参画についてかんがえてみませんか。

- ◆日 時：平成28年**12月2日（金）**午後6：30～8：30
- ◆会 場：新潟ユニゾンプラザ 2階 女性団体交流室2
- ◆定 員：50名
- ◆申込締切日：11月29日（火）（一時保育の希望の場合：11月25日（金））
- ◆プログラム
 - ・次期新潟県男女共同参画計画（素案）の説明
 - ・パネルディスカッション ・意見聴取
- ◆申込・問合せ：新潟県県民生活・環境部 男女平等社会推進課
 - ・TEL 025-280-5142
 - ・E-mail ngt030130@pref.niigata.lg.jp

上映会&講演会

映画「みんなの学校」をご存知ですか？すべての子どもに居場所がある学校づくりを実現した大阪市大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画です。その大空小学校を作り上げた初代校長大村泰子先生のお話から学び、ともに考えませんか。

- ◆日 時：**12月4日（日）**13：00～17：00（受付 12：30～）
 - 上映会…13：00 映画「みんなの学校」
 - 講演会…15：00 木村泰子先生（前校長先生）
- ◆会 場：燕市吉田産業会館 多目的大ホール
（燕市吉田東栄町 14-12 TEL. 0256-92-2500 ナビ検索用）
- ◆主 催：特定非営利活動法人 ねこちぐら
- ◆申 込：事務局 三条市市民活動支援センター TEL0256-34-8960
（電話受付時間：月～金 9：00～18：00）
- ◆定員500名（定員になり次第締切）

入場無料

夫婦で考えるワーク・ライフ・フューチャー

もうすぐはじめての子育て。仕事もがんばりたいけど、うまくいくのか心配・・・
子育て真っ最中。お互いやっているつもりだけど、不安がモヤモヤ・・・
家族の未来、ふたりでシェアできるのかなあ・・・悩めるあなたに贈る、『産後が始まった！』の
著者で現役パパ、渡邊大地さんの講演会。

- ◆日 時：12月11日(日) 13:30~15:30
- ◆会 場：新潟県女性センター女性団体交流室2 (新潟ユニゾンプラザ2階)
- ◆講 師：渡邊大地さん (ままのわ産後パートナーズ代表取締役)
- ◆定 員：50人
- ◆対 象：産前産後の夫婦、または子育て中の夫婦、お一人での参加も可
- ◆申 込：(公)新潟県女婿財団 TEL. 025-285-6610
(平日 8:30~17:15 土日祝日 9:00~17:00)

女性活躍推進への道

～男女雇用機会均等法施行から30年～

1986年4月施行「男女雇用機会均等法」から2016年4月施行「女性活躍推進法」まで30年。私たちの働く環境は、何が変わり、何が変わっていないのでしょうか。均等法成立からこれまでの女性活躍推進の変遷を振り返り、女性活躍推進にむけた今後の課題について考えてみませんか。

- ◆日 時：12月14日(水) 13:30~15:30
- ◆会 場：新潟県女性センター女性団体交流室2
(新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階)
- ◆講 師：池田心豪 ((独)労働政策研究・研修機構主任研究員)
- ◆対 象：テーマに関心のある60名 (申込先着順)
- ◆一事保育：要予約。生後6ヶ月以上。保育協力費子ども一人200円
保育申込締め切り11月30日(水)
- ◆申込・問合せ：(公)新潟県女性財団 TEL025-285-6610

参加費無料

編集後記：

高齢者の自動車事故が後を絶ちません。自損で終わらず人を巻き込んだ事故は他人事ではない思いがあります。ついこの間、おじいちゃんおばあちゃんの八十八のお祝いに、子ども、孫、ひ孫が集まり賑やかに温泉旅行を楽しんできました。その後で、おじいちゃんが「次の運転免許の更新はしないつもりだ」と一言。引き算ばかりで老いてゆくのは寂しいかぎりです。
鮮度一番211号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>